

特定非営利活動法人

本島町笠島まち並保存協力会

組織の概要

- * 代表者：理事長 森中 恒夫
- * 事務局：本島コミュニティセンター「しわく」
- * 所在地：丸亀市本島町泊506番地1
- * 活動分野：保健・医療・福祉、社会教育、
まちづくり、環境保全、
学術・文化・芸術・スポーツ

- * 活動地区：丸亀市本島町笠島地区
- * 連絡先 (TEL)：0877-27-3222
- * 連絡先 (FAX)：0877-27-3222
- * HP：
<http://www.geocities.jp/simah020/2005/kanri.html>

活動をはじめた「きっかけ」

昭和56年に、自治活動の一環として協力会が発足。昭和60年4月に本島町笠島地区が、『重要伝統的建造物群保存地区』に認定されたことを受けて、昭和62年から保存修理・修景整備事業が開始され、笠島まち並保存センターが設置。その管理・運営や、周辺の清掃活動等を行い、地区の保存に向けた取り組みを推進。平成12年に香川県の特定非営利活動法人に認定。

現在の主な取り組み

『地区内の住環境と調和を図りつつ、 観光施策を推進』

* まち並保存センターの管理・運営

委託事業（丸亀市）として、「笠島まち並保存センター（真木邸）、ふれあいの館（旧真木邸）、文書館（藤井邸）」の施設管理、また、保存地区内の清掃活動を行い、伝統美観の保存や清潔な住環境整備を推進。

来訪者は、50～60歳代の夫婦を中心として、年間2,300名程度で推移しており、広島や岡山からの団体ツアーもある。

* 空き家対策事業（簡易民宿営業）

地区内の空き家となっている建物（個人宅）を、協力会が借り、簡易宿泊所として利用。通年利用が可能であること、また、重要伝統的建造物群地区内の建物での宿泊を体験することが可能であることから、年間30～40組が利用している。

▼ 笠島まち並保存センター（真木邸）



▼ 笠島重要伝統的建造物群保存地区



～活動団体の声～

香川県で唯一の「重要伝統的建造物群保存地区」として、メディア等に取り上げられることで、地域でも文化財への認識が高まり、新たな取り組みも生まれ、地区住民は活動を続けてきてよかったと感じている。現在、保存地区内では高齢化や空き家の増加、建物維持・修繕など、課題は多くあるが、地元自治体とも連携して、地区を守っていききたいと考えている。

来年には瀬戸内国際芸術祭が予定されている。当会のメンバーは高齢者が多く、できることは限られた分野になると思うが、協力できることはしていきたいと考えている。